

平成23年度 シラバス							
教科名	公民	科目名	現代社会	単位	2	対象クラス	1A 1B
授業担当者	中村敏彦	授業形態(単独、TT、習熟度別)	単 独				
使用教科書・副教材等	新版現代社会(実教出版)						
教科の目標・方針等							
人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。							

学期	単元名	予定時間	主な学習活動と指導のポイント	評価方法
前 期	第1部 現代に生きるわたしたちの課題	10	・5つのテーマから「地球環境問題」「資源・エネルギー問題」「科学技術の発達と生命」を取り上げながらも、現代社会における様々な課題を総合的に考察し、原子力問題や命の尊さ、幸福・正義・公正などについて考える。 ・身近な社会問題を取り上げ、問題の現状・原因・意見を整理し、レポートを作成することで理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート等点検 ・レポートと意見発表
	第2部 現代の社会と人間 ① 現代の社会生活と青年	7	・4つのテーマから「少子高齢化」「高度情報化社会」を取り上げ、遠野市の高齢化の問題や、携帯電話など具体的な事例を通して問題点を考察し、現代社会に生きる人間としての在り方、生き方を考える。 ・自己形成の課題を考察し、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら、特にも自己の進路を具体的に考える契機とする。	
		1	前期中間考査	考査点+今期総評価
前 期 末	第2部 ② 現代の経済社会と国民生活	17	・経済社会の変容などに触れながら、財政・租税・金融のしくみなどについて理解する。 ・雇用・労働問題・社会保障について理解し、個人や企業の経済活動における役割と責任について考え、自己の進路を考える。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート等点検
		1	前期末考査	考査点+今期総評価
後 期 中 間	第2部 ③ 現代国家と民主政治	15	・身近な事例を通して基本的人権の保障、国民主権、平和主義などについて考え、日本国憲法に定める政治の在り方と国民生活の関わりを理解する。 ・政治参加の重要性を学び、民主的な社会において自ら生きる倫理観を培う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート等点検 ・レポートと意見発表
		1	後期中間考査	考査点+今期総評価
後 期 末	第2部 ④ 国際社会と人類の課題	17	・国際社会における政治経済の動向に触れながら、国家主権、人種・民族問題、軍縮と安全保障、国際貢献などについて理解し、国際社会において日本の果たすべき役割と日本人の生き方について考える。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート等点検
		1	後期末考査	考査点+今期総評価
	計	70時間		

※第1部は、5つのテーマから2つ程度、第2部第1章は、4つのテーマから2つ程度を選択する。(文部科学省「高等学校学習指導要領 現代社会」の内容の取扱いによる)。

平成23年度 シラバス							
教科名	地歴	科目名	日本史A	単位	2	対象クラス	2A 2B
授業担当者	中村敏彦		授業形態(単独、TT、習熟度別)	単独			
使用教科書・副教材等	改訂版現代の日本史(山川出版社) / 日本史のアーカイブ(とうほう)						
教科の目標・方針等							
近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、諸資料に基づき世界の歴史と関連付け、現代のさまざまな課題を考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。							

学期	単元名	予定時間	主な学習活動と指導のポイント	評価方法
前 期 中 間	【序章】 近代以前の日本	9	・地図や写真などの資料を活用し、近代以前の日本の主要な出来事と文化を中心に考察する。同時に、パソコンや図書館を利用した「調べ学習」を行い、その結果をレポートにまとめ、情報収集力、表現力などを養う。 ・修学旅行のコースに合わせて古都の成り立ちや文化財の内容を学び、日本の歴史、伝統、文化を理解する。 ・主題学習として「平泉の歴史」をとりあげ、地域社会の変化と、地域の伝統文化を継承する重要性を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート等点検 ・レポート・意見発表
	【第1章】 開国と維新	8	・鎖国下での対外関係と、開国から明治新政府の改革と新しい日本の成立過程を理解する。 ・古文書を活用し、時に南部藩の立場から当時の社会を考えさせるなど、思考力や想像力を養う。	
		1	前期中間考査	・考査点+今期総評価
前 期 末	【第2章】近代国家の形成と発展	17	・近代国家形成期の政治・経済・外交(日清日露戦争を含む)・文化の内容を学び、現代の社会や諸課題が歴史的に形成されたものであることを理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
	【第3章】産業化の推進と国民生活の変化		・主題学習として、総合的な学習(遠野ゼミナール)と関連させて『遠野物語』などの遠野の伝承文化に触れ、文化財保護の意識を養う。	・ノート等点検 ・レポート・意見発表
		1	前期末考査	・考査点+今期総評価
後 期 中 間	【第4章】第一次世界大戦と大正デモクラシー	15	・大正時代から第二次世界大戦までの日本の歩みを学び、特に釜石の艦砲射撃や沖縄戦の資料などを通して戦争の悲惨さを理解し、平和を希求する精神を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
	【第5章】第二次世界大戦と日本		・原敬、斎藤実、米内光政など岩手の偉人について学び、地域への理解を深める。	・ノート等点検 ・感想文
		1	後期中間考査	・考査点+今期総評価
後 期 末	【第6章】占領下の日本	17	・戦後の政治経済・国際環境・文化の動向について、現代の諸課題との関連を考察し、身近な事例を踏まえながら社会に対する問題意識を高める。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
	【第7章】日本の自立と経済成長 【第8章】現代の世界と日本		・諸課題を整理し、レポートや小論文にまとめることで問題分析や解決能力などの「考える力」と、それを伝える表現力を培い、将来、社会人として生きる力を養う。	・ノート等点検 ・小論文
		1	後期末考査	・考査点+今期総評価
	計	70h		

※「生活と歴史」については、主題学習として2～3つを取り上げて実施する。(文部科学省「高等学校学習指導要領 日本史A」の内容の取り扱いによる)。

平成23年度 シラバス							
教科名	地歴	科目名	世界史A	単位	2	対象クラス	3A 3B
授業担当者	中村敏彦		授業形態(単独、TT、習熟度別)	単独			
使用教科書・副教材等	新版世界史A(実教出版) / プロムナード世界史(浜島書店)						
教科の目標・方針等							
近現代史を中心とする世界の歴史を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。							

学期	単元名	予定時間	主な学習活動と指導のポイント	評価方法
前 期 中 間	【第Ⅰ部】 諸地域世界と文化交流圏	17	〈第1章〉諸地域世界と文明 ・歴史を学ぶ意義を理解し、近年の時事問題を交えながら現代国家を地理的に理解する。 ・16世紀以前の、世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深める。 ・世界遺産を調べ、歴史・文化への関心を高める。 〈第2章〉諸地域世界の交流(選択) ・「遊牧社会の誇張」「東アジア海域とユーラシア」をとりあげ、日本が世界の歴史とつながっていることを理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート等点検 ・調べ学習と意見発表
			1	前期中間考査
前 期 末	【第Ⅱ部】 一体化する世界	17	〈第3章〉一体化に向かう世界 〈第4章〉欧米の諸革命と世界の変動 ・近現代史を理解するための前提として、ユーラシアの諸文明の特質に触れながら、16世紀以降の世界が一体化に向かう過程を近世の日本の関係を交えながら理解する。 ・産業革命、フランス革命、自由主義と国民主義の進展等を中心に考察し、欧米の工業化と国民形成を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート等点検 ・レポートと意見発表
			1	前期末考査
後 期 中 間	【第Ⅲ部】 現代の世界と日本	15	〈第5章〉現代世界のあゆみ ・帝国主義時代の抗争とアジア・アフリカの対応、2つの世界大戦の過程、性格、影響など、その意味を考察し、平和への意識を培う。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート等点検
			1	後期中間考査
後 期 末	【第Ⅲ部】 現代の世界と日本	17	〈第6章〉第二次世界大戦後の世界 ・大戦後の冷戦、アジア・アフリカの民族運動、経済のグローバル化、紛争、環境・エネルギー問題を理解する。 ・主題学習として「地域紛争と国際社会」「科学技術と現代文明」を考察する。 ・人類の課題を歴史的観点から総合的に考察し、持続可能な社会の実現について展望し、自己の考えを整理する。	・授業態度等行動観察 ・ノート等点検 ・小論文・意見発表
			1	後期末考査
	計	70h		

※第Ⅰ部第2章では、4つのテーマの中から2つ程度を選択する。(文部科学省「高等学校学習指導要領 世界史A」の内容の取扱いによる)。

